

伊藤病院だより
WINTER

Voice

2012年12月1日発行 第40号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



ロンドンオリンピック、女子200mバタフライで
銅メダルを獲得された星奈津美選手

星奈津美選手にメッセージをいただきました

今年8月に開催されたロンドンオリンピック、女子200mバタフライで見事銅メダルを獲得された星奈津美選手。オリンピック後の日本学生選手権大会水泳競技大会でも、得意の200mだけでなく100m女子バタフライも制し、2冠を達成されました。トップアスリートとして活躍される一方で、母校を訪問されたりと多忙な日々を送られていますが、実は7年ほど前にバセドウ病が発症し、以来治療を続けられています。

嵐が大好きで、ライブDVDは繰り返し何度も見てしまうという星選手に、どのように病気と向かい合っているのか、Q & Aにご協力いただきましたので、ご紹介します。

Q メダルを獲得されたお気持ちを教えてください。

A 五輪のメダリストになる事がずっと目標だったので、その目標が達成できた事は素直に嬉しかったです。

しかし、自分でも“金メダル”というものを視野に入れてトレーニングしてきたので、そこには自分の力で遠く及ばなかったことがとても悔しかったです。

Q ご病気に最初に気がつかれた症状は？

A はじめは、水泳の合宿中でトレーニングの中での心拍数の上がり方が異常に早かったり、通常よりもハードなトレーニングでないときにも息切れをしていて、おかしいなど思いつつも単純に調子が悪いのかなと思っていました。

しかし、日常生活の中でも同じようなことが起こり始め、学校や駅の階段を上がっている時に苦しくなるほど息が上がったり、さらに人前で話をする場面などでも、手汗をかいたり動悸が激しくなったりということが多々あり、そんな話をほぼ毎日のように母に話していたら、母がもしかしたら…と、一緒に病院に検査に行こうと言ってくれました。

Q バセドウ病と診断されたときのお気持ちは？

A 最初は、バセドウ病に関する知識がほとんどなかったので、競技を辞めなければいけないのかなという事も頭に



浮かび、とても不安になり正直辛かったです。

しかし先生が、一時的には競技を休まなければいけないが、数値が安定してくれば治療をしながらまた競技を再開できると言ってくれたので、少しホッとしました。

Q 病気についての知識はどのように得られていますか？

A 初めは、先生から説明を受けてほしいのことは理解することが出来ました。その後は気になることがあれば自分で調べたり、直接先生に聞いたりしています。

Q 病気であることをお話したときの周りの反応はいかがでしたか？

A 発症したのが6～7年前なので、その頃は病名を言っても周りで知っている人の方が少なかったと思います。

最近では、数年前に歌手の絢香さんが発症されたこともあってか、病名を言うのと知っている人の方が多いような気がします。

また、そんな病を抱えながら水泳なんていうハードな競技が出来るの？と驚かれ、治療方法について具体的に聞かれることも多いです。

Q 現在一番気になる症状、負担になっている症状は何ですか？

A 基本的に、毎日の薬の服用で安定しているので、日常生活で負担になるようなことはほとんどありません。

気になる症状としては、トレーニングのときに人の倍くらい汗をかいたり、それ以外の時でも普段から汗をかきやすいところが少し気になります。

また、遠征でレースの数が多かったり、高地トレーニングで身体を疲労困憊の状態まで追い込んだときに、その疲労がしっかり取れていない状態で検査に行くと、たまに数値が上がっている事があるのでその時は少し身体が心配になります。

Q 私生活、トレーニング時に気をつけられていることは何ですか？

A とにかく、自分の身体は自分が一番理解できるはずなので、頑張ることは当然のことですが、無理だけはしないようにしています。とても判断が難しいところではありますが、自分が出来る、まだ大丈夫だと思った時はとことん追い込み、本当に身体の状態が疲労のピークに達したり、これ以上やったら負担が大きすぎると感じたときはやらないようにして、代わりにしっかり休養をとるようにしています。

その点は担当コーチも理解して下さっていて、私自身の判断にすべて任せると言ってくれているので、自己管理をしっかりするようにしています。

Q 診断されてから数年たちますが、病気についての考え方は以前と比べて変化はありますか？

A 私自身、病気が発症した当時からこの病気に対して重く考えないようにしているので、特に変化はありません。

しかし、発症してすぐに泳げなかった時期が数か月あり、その時に自分が今まで当たり前のように毎日トレーニングが出来ていたことを、幸せなことだったんだと初

めて感じた時があり、これは病気になっていなかったらきっと気付くことが出来なかったと思います。症状が落ち着き、また毎日トレーニングをするようになったときに、トレーニングが出来なかった時期を経験したおかげで、これまで以上に苦しいことや辛いことをたくさん乗り越えられるようになったと思います。そして、治療をしながらもこれまでと変わらず競技を続けてくることが出来、五輪という舞台にも立つことが出来たのは、この病院で理解のある先生方に出会えたおかげだと思います。本当に感謝したいです。

Q 同じ甲状腺の病気の方々へ一言お願いします。

A 同じ病気であっても、症状や病気に対する考え方は人それぞれだと思いますが、私は病気になったことで、これまでマイナスな事ばかりではなく様々な面でプラスになったことも多かったと思っています。

これからも水泳という競技を通じて、自分の夢に向かってどんどんチャレンジし、そんな姿を見ていただくことで、同じ病気でも悩んでいる方や辛い思いをしている方へ、少しでも励みになったり、プラスになるようなことが伝えられたら嬉しいなと思います。

バセドウ病の患者さまへ(伊藤病院 内科 鈴木美穂)

星さんも、皆様と同じように定期的に外来への通院を継続して、夢であるオリンピック出場を叶えられました。周囲の理解を得たり、病気に対する知識を深めたりと、病気に向き合う気持ちには違いがないと思います。

バセドウ病を発症された時には、どんな病気かもわからず、不安になられることが多いと思います。少しずつ病気と向き合っていく中で、うまくつきあっていく方法を見つけていただけたと思います。ホルモンが高いときには、いろいろと制限を言われてしまうこともありますが、ホルモン値のコントロールが安定してゆけば、どんなことにも挑戦していただける病気であることを理解していただきたいです。ホルモン値をコントロールする方法には、内服薬や放射線治療、手術療法など様々ですが、おひとりおひとりにあう方法を見つけていただきたいと思います。

伊藤公一院長が日本医療・病院管理学会で メディカルツーリズムについて発表しました

日本医療・病院管理学会は、我が国の病院医療のみならず国民の保健・医療・福祉全般にわたり学術活動を続けている学会です。伊藤公一院長は16年前より評議員を務めております。10月18日に東京で開催された50周年記念学術集会では学会内国際委員として、伊藤病院が行う医療の国際化について「甲状腺疾患専門病院におけるメディカルツーリズムの取り組み」の演題で、現状と展望を報告し、会員より大きな反響を得ました。

第3回国際観光医療学会学術集会で発表しました

伊藤病院 広報室 テイクン

国際観光医療学会とは、海外の観光客を対象として日本に各地域の観光資源と質の高い健診や治療を中心とした医療を結び付け、学術的研究の発表・交流・協力を通じて観光医療学の発展に寄与することを目的に設立された学会です。学術集会としては、今年3回目を迎えます。当院の伊藤公一院長も理事として学会に参画しておりますが、さらに2014年に東京で開催される第5回国際観光医療学会学術集会の学会長にも任命されました。

今年の学術集会は2日に渡り、今後の日本の観光医療の発展のため医療水準の高さを国際的に示すために「観光医療のインバウンドとアウトバウンドの取り組み」をテーマに開催されました。全国から医療観光に携わっている300人以上の方々に参加され、6件の特別講演と24演題のポスター発表がありました。

当院からは「甲状腺疾患専門病院におけるメディカルツーリズムの取り組み～ロシア語圏への取り組み～」をテーマに発表いたしました。発表内容としては英語・中国語・韓国語通訳を通じ、在日外国人患者様に安心してご来院できるよう気を配っていることや、更にロシア語のホームページの追加によるロシア語圏への取り組みをご紹介して参加された方々の注目をあびた上に、発表後活発な質疑をいただきました。

当院はメディカルツーリズムに積極的に取り組んでおりますが、今後もより多くの世界の甲状腺を病む方々のために専門診療をご提供していく所存であります。



当院では、在日外国人や日本語が不自由な方のために、無料で中国語・韓国語通訳をご提供しております。又、中・韓国語で訳した甲状腺疾患に関するリーフレットなどもございますので、お気軽にスタッフまでお問い合わせ下さい。

これからも、在日の外国人や、海外からご受診にいらした方々が安心してご受診出来るようより努力をしておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

“実地医家のための甲状腺疾患診療の手引き 伊藤病院・大須診療所式”を発刊しました

伊藤病院 診療技術部 部長 北川亘

このたび、伊藤病院の日頃の診療経験に基づいた書籍として「実地医家のための甲状腺疾患診療の手引き」を作成しました。

甲状腺疾患は病状が進行するまで患者様自らが、その存在に気づかずに過ごしてしまうケースが多々存在します。また、甲状腺疾患が疑われても専門医の外来を直接に訪れる場合は少なく、多くの方がかかりつけ医の先生方に診断されたり、健診で異常が明らかとされ診療が開始されます。

本書は実地医家の先生方に御覧頂き、甲状腺疾患に遭遇した際、その診療の手引きとなることをイメージして作成しました。伊藤病院の最新データをもとに、甲状腺疾患の基礎知識から日常臨床でのポイント、どのタイミングで専門病院に紹介するかなど幅広く記しました。執筆には現在、伊藤病院で働く全診療スタッフが総力をあげて当たりました。

本書が実地医家の先生方の日常診療の一助となり、「甲状腺を病む方々のために」少しでも役立つことを願っています。



新刊

実地医家のための
甲状腺疾患診療の手引き
伊藤病院・大須診療所式

監修 伊藤公一
編集 北川亘 向笠浩司 渋谷洋
発行 全日本病院出版会
価格 6,500円

「表参道日記～その1～」発行のお知らせ

伊藤公一院長は4年前から月刊誌「美楽」に随筆を連載しております。それらの文章が、10月29日に幻冬舎出版より書籍として編集発行されました。

内容は医学的なものではありません。日本を元気にしたい想いを込めて、過去に感じた想いや、政権交代、経済不安、東日本大震災など混乱の時代における感銘や憤りを日記帳の如く自由に綴っております。

ちょっとした息継ぎに、お読み頂ければと存じます。



新刊

表参道日記～その1～

発行 幻冬舎メディアコンサルティング
定価 1,000円
全国の書店、当院1階売店で販売しております。

当院は被災地支援に積極的に参加しております。

伊藤病院 診療技術部 部長 北川 亘

◆福島県「県民健康管理調査」甲状腺検査の県外検査実施機関となりました。

福島県では東日本大震災当時18歳以下だった全県民に対して甲状腺超音波検査を実施しています。検査は福島県内において行われておりますが、福島県外に避難している方も多数いることから、県外でも甲状腺検査を安心して受けられるように全国都道府県に甲状腺検査拠点病院を置くことになりました。このたび伊藤病院は福島県「県民健康管理調査」甲状腺検査の県外検査実施機関となりました。

11月より福島県「県民健康管理調査」の一環として甲状腺超音波検査を当院で施行しております。

◆甲状腺超音波検査の研修を受け入れております。

東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、小児甲状腺癌の発生が危惧され甲状腺超音波検査の重要性が高まっております。当院は福島県および近隣の病院から甲状腺超音波検査を中心とした臨床検査研修の依頼を受け、今年1月から臨床検査技師の研修を受け入れております。現在までに福島県南相馬市立総合病院、福島県いわき市の常磐病院、栃木県佐野市民病院的臨床検査技師の方々が研修をされました。

9月から10月まで福島県のひらた中央病院、佐藤英夫さん、矢内理恵さんが研修をされました。臨床研修をされた佐藤さん、矢内さんからごあいさつをいただきましたのでご紹介いたします。

医療法人 誠協会 ひらた中央病院
公益財団法人 震災復興支援放射能対策研究所
技術部 部長 佐藤英夫

この度、当財団において福島県民の甲状腺を長期的にフォローしていくことになり、甲状腺エコーの技術支援をしていただき誠にありがとうございました。

当法人は、東日本大震災及び原発事故より、県内の被災した施設の高齢者を180名収容いたしました。そういった中で家族の放射能による不安は計り知れないものがありました。その状況を察知した当法人の理事長は県内でも早いうちに内部被ばくの検査をするWBC(ホールボディカウンタ)の導入や食品の放射能検査をするGe半導体検出器を導入し、県民が安心して安全に住める福島県を目指しております。

今回、多くの県民の方々から甲状腺の検査はやらないのですか？



との問合せに対して甲状腺検査を行うようになり、伊藤院長先生の計らいで、研修の機会を設けていただきました。

伊藤病院には週一回の研修でしたが、親切・丁寧に指導していただき感謝しております。

また、甲状腺エコーのレベルの高さには感心致しました。その上、患者様に対しての接遇の徹底に関しても感心致しました。

このような研修の機会を設けていただいた伊藤院長先生には深く感謝いたします。

また、研修の対応をしていただいたスタッフの皆様大変ありがとうございました。

今後、県民の甲状腺エコーをフォローしていくこととなりますが伊藤病院で学んだ技術を生かして頑張っていきたいと思っております。

ひらた中央病院 臨床検査室 矢内理恵

今回の甲状腺エコー研修では、お忙しいにもかかわらず、時間や内容など我々の要望に対して親切、丁寧にご指導頂きありがとうございました。

福島県では、東日本大震災当時18歳以下だった県民を対象に甲状腺エコーを検査しておりますが、放射線量が高い地域から優先的に実施しているため、検査未実施で不安な思いをされている方がまだ大勢いらっしゃいます。そのような状況で、当院でも甲状腺エコーを開始することになり、伊藤病院で研修させていただきました。

研修では、外来の患者様が大量いらっしゃることも、また甲状腺エコーの検査時間が数分で、検査結果も短時間で診療側に提供していることに驚きました。甲状腺エコーに関する専門知識は、書籍等で得ることが数少ないため、今回の研修ではディスカッションすることにより、疑問点が解消されました。このような機会を頂き、感謝しております。

今後、当院で甲状腺エコーを検査していきますが、学んだ技術や知識を生かし頑張っていきたいと思っております。

今回は誠にありがとうございました。



今後も甲状腺疾患専門病院として引き続き支援活動を行ってまいります。

第45回日本甲状腺外科学会学術集會に出席して

伊藤病院 外科部長 長瀨充二

2012年10月4日、5日に横浜市で第45回日本甲状腺外科学会総會が開催されました。この学術総會は1967年に甲状腺外科検討會として始まり、1998年の第31回からは甲状腺外科研究会と名称が変わり、2006年の第39回から日本甲状腺外科学会学術集會として続く、本邦での甲状腺・副甲状腺外科の分野では中心的役割を担っている学会です。伊藤病院でも1989年(平成元年)に伊藤國彦院長(現名誉院長)が当番世話人を務め、第22回甲状腺外科検討會を主催しました。例年この学術集會には力を入れており、本年は下記の8演題を発表しました。

- 1 伊藤公一：(シンポジウム2 パセドウ病外科治療の変遷) 当院におけるパセドウ病外科治療法の変遷～垂全摘から全摘へ
- 2 杉野公則：(シンポジウム3 新たなるエビデンスの蓄積を) 甲状腺濾胞癌の予後因子の検討
- 3 長瀨充二：(シンポジウム1 低分化癌の診断と治療) 甲状腺低分化癌の診断と治療－伊藤病院の取り組み－
- 4 北川亘：当院細胞診の甲状腺ベセスダシステムによる再評価－甲状腺癌取り扱い規約との比較検討－
- 5 大桑恵子：Ki-67、Parafibromin、p27、Rb蛋白発現は、副甲状腺癌の診断・再発リスクと関連するか
- 6 矢野由希子：20歳以下の甲状腺癌症例の臨床像、甲状腺乳頭癌手術と予後についての検討
- 7 宇留野隆：甲状腺、副甲状腺手術におけるSurgical Site Infection予防のための抗生剤投与の有用性の検証(Ito-RCT1)
- 8 鈴木章史：病理CPC甲状腺原発神経内分泌癌の1例

この中で、ポスター発表部門で設けられていた優秀ポスター賞を宇留野隆医師が受賞したことも特筆すべきこととなりました。

また下記の2題の招聘講演があり、吉村弘内科部長も参加をしました。

- 1 吉村弘：(スポンサーセミナー1 放射線と甲状腺) ヨードと甲状腺
- 2 北川亘：(ランチョンセミナー2) 甲状腺手術におけるHARMONIC®の有用性－Energy Deviceで考えるTissue Management－

今回は“新たなるエビデンスの蓄積を”というテーマで開催されました。学術集會会長はエビデンスに基づいた「日本型」のガイドラインとして2010年に刊行された、甲状腺腫瘍診療ガイドラインの作成委員会委員長を務めた神奈川県立がんセンター乳癌・内分泌外科の吉田明先生で、継続する思いの伝わる学術集會でした。



伊藤公一院長



杉野公則副院長



長瀨充二外科部長



北川亘診療技術部部長



大桑恵子医師



矢野由希子医師



宇留野隆医師



鈴木章史医師



吉村弘内科部長

ホームページをリニューアルしました

当院創立75周年を記念しホームページもリニューアルいたしました。

リニューアルをするあたり、院内全部署でこれまでのホームページ内容を全て見直すとともに、アクセス数が一番多かった甲状腺の病気、検査・治療についてのご説明、そして外来診療時間など、患者様が求める情報にすぐたどりつけるよう作りました。

また、近年海外からいらっしゃる患者様も増えております。当院の甲状腺疾患についてのご説明をより多くの甲状腺を病む方々にお伝えしたく、英語・中国語に加え、ロシア語のホームページも増設いたしました。

難しい専門用語を避け、患者様の立場で分かりやすく読みやすいようにまとめておりますので、この度ホームページ変更をきっかけに、より多くの甲状腺にご心配がある方々にご覧になっていただければと存じます。

これからも、80周年、90周年に向けて職員一同研鑽を重ねてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



アジア太平洋内分泌会議(Asia-Pacific Endocrine Conference: APEC)

伊藤病院 外科部長 長濱充二

APECは内分泌疾患の研究や診療に携わる研究者や医師が、1年に一度アジア・環太平洋地域の国に集まり、その研究成果を発表して交流を図る会議です。主に若い研究者や医師に英語で発表する機会を提供する目的で、1988年にシンガポールで第1回の会議が開催されました。今年は第23回のAPECが7月にタイのバンコクで開催されています。

2013年の第24回APECの会長は私が務めることになり、中国の吉林大連市中日聯誼病院甲状腺外科のスタッフと協力して中国遼寧省大連市で開催する予定です。活発で実りのある会議になるよう準備を進めたいと考えています。

APECの常設事務局は伊藤病院にあり、伊藤病院のホームページでAPECについての情報をご覧いただけます。



第5回日仏医療マネジメント研究会

今年も9月第1週に、フランス・パリ市内で国際医療福祉大学 高橋泰教授(当院顧問)とともに研究会を主催いたしました。当研究会は日仏の医療・介護施設管理者が双方向に、内容に精通した同時通訳を介して、抱える医療福祉の現状や未来をディスカッションし、諸問題を解決し両国の保健衛生の発展に繋げる目的で開催されています。民間の急性期病院からパリ大学病院、人工透析病院、老人介護施設、在宅医療

機関にて有益な議論が交わされました。その取り組みはフランスでも注目されており、来年も招聘を受けております。この貴重な体験を伊藤病院の運営管理にも役立てていきたいものと考えております。



全日本病院学会で発表しました

9月21日・22日に横浜で第54回全日本病院学会が開催されました。この学会は病院に勤務する様々な職種の方が全国から集まり、医療界の諸問題からそれぞれの施設における取り組みなど、幅広いテーマについて講演、発表、ディスカッションの場となっております。今年も約2300名の参加者が集まりました。

当院からも、今年は看護師を中心に、診療情報管理室からも日々の業務や研究を通しての気づきなど、7演題の発表を行いました。

患者様により良い医療サービスをご提供出来るよう、この学会で経験したこと、学んだことを今後の業務に役立ててまいります。

手術を受ける患者様の看護～看護介入における評価・確認の必要性～	廣瀬佳衣	看護部	手術室
一時的に気管切開になった患者様との関わりを通して手術室看護師の役割を考える	上野あゆみ	看護部	手術室
高齢者との関わりを通して高齢者の外来看護について考える	畑ゆかり	看護部	外来
パセドウ病と診断された学童期における外来看護師の役割	稲吉悦子	看護部	手術室
アイソトープ治療の選択に悩む患者様との関わりを通して考えたこと	川内和歌子	看護部	外来
パセドウ病と診断された患者様の思いを聴く	日高なおり	看護部	病棟
NCD登録への当院の取り組み	福村香織	診療情報管理室	



廣瀬佳衣



上野あゆみ



畑ゆかり



稲吉悦子



川内和歌子



日高なおり



福村香織

アジア・オセアニア甲状腺学会の招待講演で講演しました

伊藤病院 内科部長 吉村弘

2012年10月21日から24日まで第10回アジア・オセアニア甲状腺学会がインドネシアのパリ島で開催されました。この学会はアジアとオセアニアの甲状腺に興味を持つ医師、研究者の学会で、今回は日本からの参加者20数名を含めて約200名が参加しました。

伊藤病院からは私が、「甲状腺薬の長期投与の効果と副作用について」講演を行いました。

今回の講演のために1987年初診の574名の未治療バセドウ病患者様のデータをまとめて報告しましたが、抗甲状腺薬から手術、RI治療に変更になった患者様はそれぞれ62名、193名で、抗甲状腺薬で長期治療した患者様は319名でした。

経過観察期間は中央値11.2年で最も短い患者様は1.3年、最も長い患者様は25.1年でした。薬をやめて1年以上甲状腺機能が正常の患者様は180例(56.6%)で、薬をやめて1年以内は45例(14.2%)、ずっと薬を服用している患者様は93例(29.2%)でした。薬を服用開始して7年目くらいまでは、年8%の割合で寛解に入りますが、それ以後は割合が減少しました。

副作用の出現頻度は、初めて使用する場合は17%で、初回は副作用が出現しなくても再投与で出現する場合がありますが、今回の検討では再投与で3.5%に副作用が出現しました。

抗甲状腺薬を服用中は、常に副作用に注意が必要との結果でした。



JIIMAベストプラクティス賞を受賞しました

(社)日本画像情報マネジメント協会(JIIMA)は、経済産業省公認の文書情報マネジメントの普及・啓発につとめる国内唯一の団体です。2007年より、「ベストプラクティス賞」を設け、先進的な文書情報マネジメントに取り組んでいる企業・団体を表彰しており、過去にはみずほ銀行や東京海上日動火災保険などが受賞されています。

第6回となる今回、本院の紙カルテと電子カルテの融合、およびカルテ永久保管についての取り組みが表彰されました。

Voice前号でもご紹介いたしましたが、本院では紙カルテ画像情報の電子カルテへの取り込みに加え、紙カルテの永久保管に取り組んでいます。残念ながら戦災により焼失したカルテもございますが、これまでに保存している紙カルテは36万件に上ります。しかしながら、戦後数年に作られたカルテは紙質が粗悪であったために劣化が進み、判読が難しくなりました。これらのカルテの永久保存に向けて、マイクロフィルム化することを決定しました。マイクロフィルムと聞いて懐かしさを感じられる方もいらっしゃるかもしれませんが、適正な保存条件であれば寿命が500年以上と言われ、また裁判でも証拠となり得るように原本の保護性にも優れています。

2012年10月10日に開催されたeドキュメントJAPANフォーラムにおいて診療情報管理室の真原が本院のカルテ管理について発表してまいりました。



真原卓郎診療情報管理室室長

2020年 オリンピック・パラリンピックを日本で!

今号のVoiceでは星奈津美選手の活躍を御紹介しましたが、今夏のロンドンオリンピックで、日本選手団は史上最多の38個のメダルを獲得。銀座での凱旋パレードには50万人もの人々が集まり、日本中が大いに盛り上がりました。

そこで48年前の1964年オリンピック東京大会を懐かしく思い出される方もいらっしゃるものと存じますが、当時の日本は、このオリンピック開催を契機に東海道新幹線や首都高速、名神高速など様々なインフラ整備が成され、その後の高度経済成長に繋がりました。東京都内では競技施設・ホテルなどの建設ラッシュが進み、特に表参道周辺は国立代々木競技場、岸記念体育館(お茶の水より移転)、五輪橋などの建築が行われ、現在でも大切に利用されています。

そして今、2020年に再び日本でオリンピック・パラリンピックを開催するための招致活動において、オリンピックタウンで仕事をする私どもは精一杯の協力を行っております。そこで先日、東京オリッ

ク招致委員会副理事長、JOC副会長である水野正人氏をお招きし、招致活動についての御指導を承りました。次々回オリンピックの開催候補地はトルコ・イスタンブール、スペイン・マドリード、そして東京の3都市までに絞り込まれていますが、招致の鍵ともなる地元住民からの支持率については、東京が最も低いのが現状です。

開催地の決定が来年の9月にまで迫りました。世界中に日本の復興をアピールし、オリンピックの感動を国内でリアルタイムに感じる大きなチャンスと存じます。

実現に向けてご協力の程お願い申し上げます。

今、ニッポンにはこの夢の力が要だ。



TOKYO 2020
CANDIDATE CITY



2020年 オリンピック・パラリンピックを日本で!

東京都庁本庁舎 東京都オリンピック・パラリンピック推進本部

表参道寄り道スポット

Hannari

町や、公園を歩く時、可愛い服やアクセサリーなどをつけた犬に思わず視線を奪われたことはありませんか。近年、癒しや心を和ませてくれる存在として「犬」と一緒に生活している方々が増えています。又、一緒に暮らす愛犬のために、季節ごとに着せる可愛い服やアクセサリー、愛犬の玩具、愛犬の健康食品まで出てきて大ブームとなっています。

今回は表参道ヒルズ地下2階にあるドッグ・スタイルショップ「Hannari」をご紹介します。

信州に本社を持ちながら東京・大阪を中心に全国に150店舗を展開し、さらには海外のニューヨークで好評を博し・上海・台湾まで店舗を持つペット洋服業界でもトップランナーの企業でもあります。

お店に入ると様々なデザインで種類豊富、そして迷ってしまうほど可愛いドッグウェアとアクセサリーなどが数多くあります。おすすめは、発熱・保温機能付きのインナーウェア「ベティヒート」で、自分で汗をかくことができないワンちゃん向けに、空気中の水分を熱に変えて保温する効果があり、柔らかな手触りとソフト感が特徴です。

他にも、軽くて温かいエアベストや遠赤外線効果があるダウンなどもあります。又、クリスマス向け季節限定の服もおすすめだそうです。(クリスマス限定服は、大人気により売り切れる可能性もあります)それ以外にも、体の大きさに別に分けられた歯ブラシや、デンタルウォーターなど健康をサポートする商品も取り扱っています。



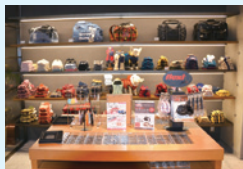
人にとっても何かと忙しい年の瀬ですが、家族同様に暮らすワンちゃんにとっては健康管理に気を配りたい季節ですので一度足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

ベティヒートの金額：
¥2,800～¥4,800(税込)
※デザイン・サイズにより異なります。

お店の方から一言

NYで人気のセレクトブティック「ドッグ・スタイルショップ」Hannariの日本における旗艦店。NYで好評を博した着物ラインをはじめとした独創性溢れる商品を提案。店内にはオータムイデ工房を設置し、首輪・リードなどアクセサリーのオーダーにも対応できます。

名称	Hannari	基本 DATA
住所	〒150-0001 渋谷区神宮前4-12-10 表参道ヒルズ本館地下2階E-B21	
TEL	03-5410-0102	
HPアドレス	http://www.creativeyoko.co.jp	
営業時間	11:00～21:00(日曜～20:00)	
定休日	表参道ヒルズに準ずる	
アクセス	地下鉄をご利用の場合 東京メトロ銀座線、千代田線、半蔵門線「表参道駅」A2出口より徒歩2分 東京メトロ千代田線、副都心線「明治神宮前(原宿)駅」5出口より徒歩3分 JRをご利用の場合 JR山手線「原宿駅」表参道口より徒歩7分	



表参道ランチ&グルメ情報

青山こころ庭

🍴「青山こころ庭」は、表参道駅A2出入口から徒歩2分。より伊藤病院に近く、リニューアルオープンしました。

和やかな雰囲気はそのままに、広くゆったりとしたモダンなデザインのお店です。店内各所にはアンリ・パヴィエラ氏の版画が飾っており、中庭や観葉植物を見ながら、ゆっくりとした時間を過ごせます。ランチのお得な日替り定食は、毎日ツイッターでメニューが更新されています。生姜焼き定食、週替り中華炒め定食と、どれもお手頃な価格(700円～)でいただけます。しかも、定食のご飯は、大盛り・おかわりが自由。プラス100円で、からだにやさしい「黒米雑穀ご飯数量限定」に変更ができます。またランチタイムはホットコーヒーがサービスになります。

そしてこの季節に食べたくなのが、看板メニューの釜飯です。伝統のだしで、生米から20分かけてじっくり炊き上げる手作りの釜飯で、五目、アサリ、とり、筍、椎茸、カニとメニューも豊富です。

和食以外にも、ゴマと鶏ガラだしの濃厚な味付けの担々麺は人気メニューです。新メニューのフォアグラ丼は、フランス産のフォアグラをほどよく焼き上げ、甘めの醤油ベースたれがかかった絶品で、どの料理もとてもキレイに盛り付けられているので、食べるのがもったいないくらいです。

今回はランチメニューをご紹介しますが、夜もおすすめの美味しい料理がたくさんありますので、ぜひ皆さんも行ってみたいいかがでしょうか？

お店の方から一言

当店のランチ一番人気は日替り定食700円(数量限定)です。若鶏唐揚げ定食(オレシナルソース) 880円もオススメです。Voiceをお持ち参のお客様にはヘルシーな黒米雑穀ご飯(プラス100円)をサービス(数量限定)。

おすすめメニュー



- ・日替り定食(700円)
- ・土曜日限定の月替わりランチコース(1,200円)写真右

基本 DATA

店名	青山こころ庭
住所	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-9-3 清原ビルB1
TEL	03-3478-0008
HPアドレス	http://kokorotei246.blog.103.fc2.com/
営業時間	[ランチ] 11:30～15:00 [ディナー] 17:00～23:30 (LO,22:10)
アクセス	地下鉄表参道駅 A2番出口 徒歩2分



中央調剤の特別講演会で講演しました

7月29日に札幌市で開催された株式会社中央調剤 特別講演会で伊藤公一院長が講演いたしました。

株式会社中央調剤は、北海道に14店の調剤薬局とメディカルビルを開設し、患者様が1つのビルで総合的な医療を受診できるよう、またかかりつけ薬局として貢献することを目標に活動されています。

講演は、「バセドウ病と橋本病の診断・治療 ～専門病院における診療の実際～」をテーマに、甲状腺疾患の検査・診断方法やバセドウ病・橋本病についてご紹介しました。講演が薬剤師を対象

に開催されていることもあり、特に両者の薬剤治療を中心に取り上げ、抗甲状腺薬の副作用および発生の頻度や、発生しやすい時期などに、当院の研究結果を織り交ぜてご説明しました。

北海道の甲状腺疾患患者様のためにも、今回の講演が参加された「かかりつけの薬剤師」の皆様がご活躍される一助になれば幸いです。



薬剤師会で講演しました

伊藤病院 薬剤室長 野中榮夫

8月30日に横浜市・川崎市保険薬局 甲状腺疾患研究会で、9月11日に玉川砧薬剤師会 勉強会で講演をしました。

両会とも「甲状腺疾患の服薬指導」というテーマで、調剤薬局の薬剤師の方々を受け取った院外処方箋に甲状腺ホルモン薬及び抗甲状腺薬が処方されていた場合の服薬指導のポイントをご紹介しました。また、当院で作成している「チラーヂンS錠を服用されている患者さんへ」と「抗甲状腺薬服薬中のご注意」のパンフレットを用いて具体的に説明しました。

両会場には50名近くお集まりになり、講演後には多数のご質問をいただきました。この度の講演が地域の患者様および薬剤師の方々にもお役に立てれば幸いです。



保育ボランティアのご紹介

連載3回目となる今回は、実際にボランティアに参加されている方にご質問をさせていただきました。

今号では、田園調布ボランティアの中村美子様にご回答いただきましたので、ご紹介いたします。

Q ボランティアをはじめようと思ったきっかけを教えてください。

A 最初に病院ボランティアを始められたお二人のうちのお一人が転勤でいっしょらなくなり、誘われて何うようになりました。

小田急線沿線に住んでおりますので、交通の便が良く、30年近くボランティアを続けることができました。

Q ボランティアの活動内容を教えてください。

A 伊藤病院のほか、白寿荘でも施設のお手伝いをしています。

そのほか、点字図書館・録音図書制作の音訳、障害児・障害者の介助、プラン・ジャパン翻訳活動、インドへ送るプランケットの作成、障害者用のエプロン作りや手芸品の作成販売、手話ダンスなどの手話活動などです。バザーやセンター便りの発行といった広報活動もしています。

Q ボランティア活動での楽しみは何ですか？

A 甲状腺の病気で来院されるお母様からお子様を預かり、一緒に遊んだり、本を読んだり、赤ちゃんを抱っこしたり等々。折り紙の上手なお子さんがいて、教えてもらったりもします。

いろいろなお子様やお母様にお会いし、時には育児のことで話がはずんだりします。子供達が楽しく過ごし、治療の終わったお母様とバイバイと手を振って帰る姿を見るとうれしくなります。

Q ボランティアで気をつけていることはありますか？

A 1歳未満のお子様は何でもお口に持って行きます。小さなブロックなどを飲み込んだりしないように注意しています。

Q これからボランティアをやるうと考えている方にアドバイス、メッセージをお願いします。

A 健康で子供の好きな方なら、どなたでも出来ます。

バセドウ病はびまん性甲状腺腫に甲状腺ホルモン過剰を伴う病気の一つです。

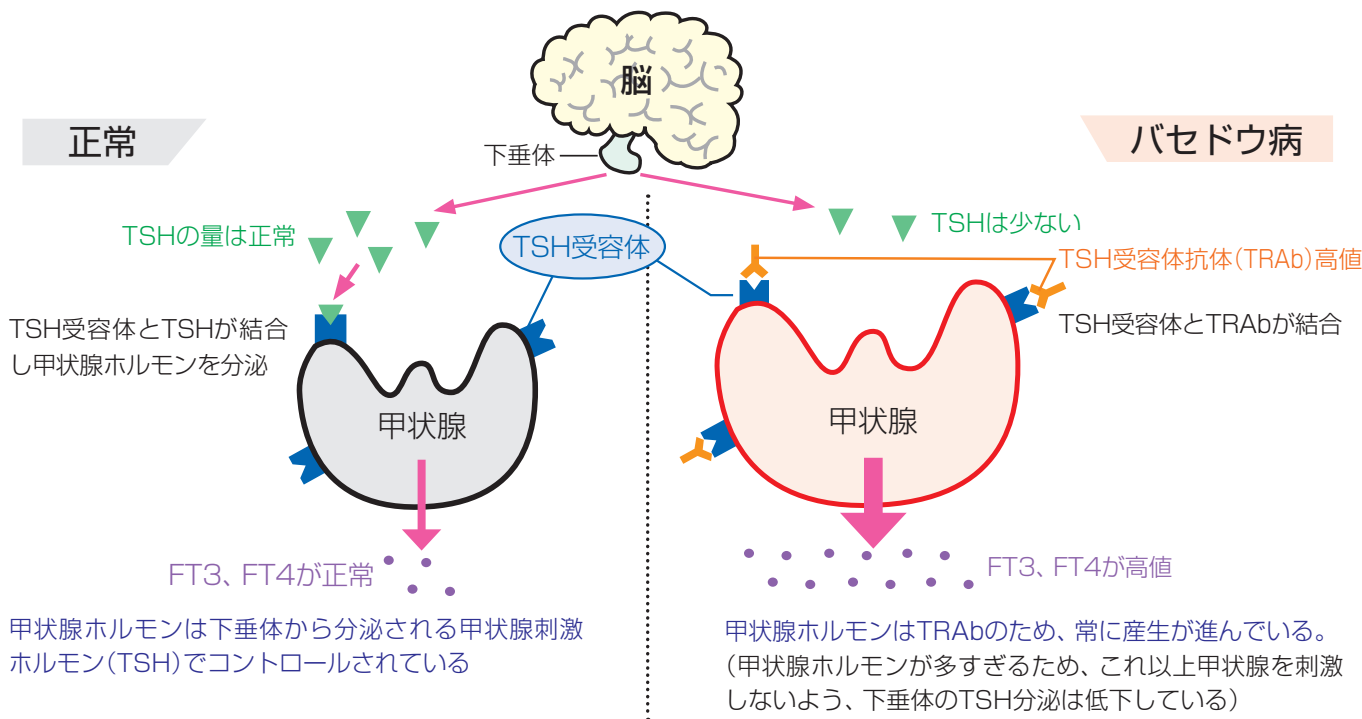
正常の甲状腺では血中の甲状腺ホルモン濃度が正常に維持されるように、脳の下垂体というところから分泌されるTSHによって上手に調節されています。TSHの刺激は甲状腺表面のTSH受容体という場所でキャッチされ甲状腺内部に伝達されホルモン分泌を促します。甲状腺ホルモンが不足していればTSHが上昇してホルモン合成を促したり、甲状腺ホルモンが過剰な場合は甲状腺ホルモンがこれ以上増えないようにTSHが低下してホルモン合成を抑えたりしてバランスをとっているのです。

バセドウ病ではこのような調節システムのかなめであるTSH受容体に対する抗体(TRAb)が存在するため、調節システムが正常に作動しなくなります。TRAbはTSHと同じようにTSH受容体に働きかけるのですが、血中甲状腺ホルモンの過不足によらず、常に甲状腺を刺激しホルモン産生が亢進する

ようになります。このためバセドウ病では、甲状腺が全体的にはれたり(びまん性甲状腺腫)、甲状腺ホルモンが過剰(甲状腺機能亢進症)となるため動悸や汗、体重がへるなど様々な症状を生じるのです。またTRAbはバセドウ病でみられる目の症状(バセドウ病眼症)などにも関与しているといわれています。このようにTRAbは病気の「もと」でありバセドウ病の診断や治療後の経過を見る際に適宜検査しています。

治療は内服薬が主体です。内服薬を継続していくうちにホルモン値が正常化しTRAbも徐々に低下していきます。TRAbが高いままの場合、上下に変動する場合などは、甲状腺ホルモン値が安定しにくく薬を中止できないことがあり、放射線治療(放射性ヨウ素内用療法)や外科治療が好ましい場合があります。このままの治療でいいのかしらと疑問を生じることがあればどうぞ担当医にお伝えください。どの治療がご本人に一番あっているか、検討してみましょう。

正常な甲状腺とバセドウ病の比較



去年3月に広報室に入職させていただいた鄭君(テイケン)と申します。去年3月以降、VOICEでも何回かご紹介させていただいたことありますが、今回は新たに広報室で私が担当しているお仕事をご紹介させていただきます。



まず、広報室のお仕事としては、当院で年4回発行している職員達手作りのVOICE作成です。VOICEの内容としては、患者様の立場になって甲状腺疾患に関する知識を詳しく、分かりやすくご紹介したり、当院職員による国内外での学会発表・講演などのトピックス、身近な健康情報を取りあげる健康に関する記事。そして、表参道付近の美味しいお店や、寄り道スポットなどを患者様にご紹介しております。その以外にも、新聞、テレビ、雑誌などの取材の対応、掲載記事の内容確認などがあります。

また、当院は以前よりメディカルツーリズムに取り組んで参りましたが、さらに積極的に取り組むために去年から中国語と韓国語が出来る私を採用していただきました。近年増え続ける在日外国人や海外から受診にいらっしゃる患者様が、中国語・韓国語通訳を通じて、より安心してご来院できるよう検査、診察時に同席し、医師と患者様の意思疎通をよりスムーズにお伝えしたりしております。

これからも甲状腺疾患に対する知識を徐々に身につけて行きながら、増え続ける外国人の患者様のために、安心・安全・頼れる伊藤病院の通訳として頑張ってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

そして、当院のVOICEも患者様の愛読書の中の一つになりますよう、心を込めて作ってまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

私の趣味は笛の演奏・映画鑑賞などがあります。笛は小学校5年生から8年くらい専攻して、アルパイトとしてパーや舞台上で演奏して、観衆から大好評を得たこともあります。今後、機会があればより多くの方々に笛の音を通じて、安らぎをお伝えしたいです。



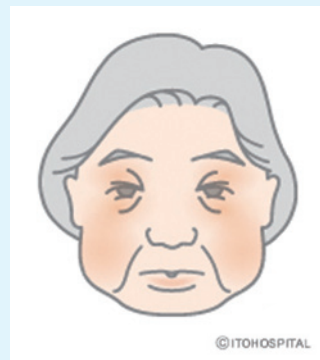
健康に関する記事 浮腫(むくみ)について

伊藤病院 内科 小林佐紀子

甲状腺機能低下症の主な症状の一つに浮腫(むくみ)があります。甲状腺機能低下症のむくみは粘液水腫とも呼ばれる特徴的なむくみで、細胞と細胞の間にムコ多糖類などがたまることによって起こります。みずっぽい感じがなく、圧迫してへこませても元に戻るのが特徴です。朝起きた時に手や足がこわばる感じがし、顔のむくみがひどいと、まぶたがむくんで、唇が厚くなり、舌が大きくなることもあります。また粘膜もむくむことがあり、喉頭にむくみがくると声がしわがれて低くなります。



健康な状態(甲状腺機能正常時)



むくんだ状態(甲状腺機能低下時)

むくみは甲状腺機能低下症以外でも起こります。

多くのむくみは細胞と細胞の間に水分がたまることによって起こります。この場合、足のすねを圧迫してへこませるとあとが残ります。このようなむくみをおこす病気には肝臓病、腎臓病、心臓病があり、炎症、栄養失調、膠原病、糖尿病、薬剤などでも起こることがあります。バセドウ病で心臓に負担がかかった場合にもこのようなむくみがおこることがあります。また、詳しく調べても原因がわからない場合もあり、その場合は特発性浮腫という病名になります。

上記のむくみは体全体におこりますが、体の一部分だけがむくむ場合もあります。そのようなむくみを起こす原因には静脈血栓症、リンパ管閉塞、静脈瘤などがあります。

以上のようにむくみはいろいろな原因でおこるので、甲状腺機能が改善してもむくみが残る場合は他の原因を考えることが重要です。

栗原鮎美医師のご紹介

大須診療所 院長 椿秀三千

大須診療所も新施設へ移転し約1年半が経過致しました。すでに水曜日～土曜日は2人の医師による診療を行ってまいりましたが、この度、診療体制の充実のため、月曜日と火曜日の外来も2人の医師による診療を10月より開始しています。今回新たに防衛医科大学出身の栗原鮎美医師(内科)が外来を担当いたします。

これからも中京・東海地区の甲状腺専門医療施設として、質の高い医療を地域の皆様にご提供できるように誠意努力して参ります。



栗原鮎美医師

椿院長が名古屋市港区薬剤師会で講演しました

大須診療所 事務長 高田博史

9月26日(土)、名古屋市港区薬剤師会において、椿院長が「甲状腺疾患の診断—私たちが実践し経験していること—」をテーマに特別講演を行いました。会場では50名近くの薬剤師の方が集まるなか、当診療所における甲



状腺疾患の実際の症例を上げて診断フローチャートなどを用いて診断・治療方法をご紹介いたしました。講演後の質疑応答では、甲状腺疾患における薬剤のフォローアップ方法や薬剤変更のタイミングについてどのように考えていけば良いかなど多数の質問を頂き、盛会のうちに講演会は終了いたしました。

名古屋市立大学薬学部製薬学科の学生に講義しました

10月26日(金)に名古屋市立大学薬学部の4年生約70名を対象に、椿院長が1時間半の講義を行いました。この講義は、今後社会人として医療界で活躍する学生に対し、甲状腺疾患についてもっと知ってもらうために、専門施設としてお役に立てることがあればとの想いでご依頼を引き受けました。



講義は「甲状腺疾患—診断と治療—」をテーマに、症例と検査データを用いてQ&A形式で進めましたが、時間が足りないほどの活発な質問をいただき、熱心さが感じられました。最後に、名古屋市立大学大学院薬学研究科 鈴木教授より学生にとって貴重な経験となったとの感謝のお言葉を頂きました。今後も甲状腺疾患専門施設として皆様へ情報発信を続けてまいります。

やましたクリニックの山下院長が見学に来られました。

大須診療所 事務長 高田博史

6月7日(木)に福岡県の医療法人福甲会やましたクリニック 山下弘幸院長が大須診療所の見学にいらっしゃいました。やましたクリニックは当診療所と同じく甲状腺・副甲状腺疾患専門施設で、「甲状腺・副甲状腺を病む患者さんへの適切な治療を継続して行う」ことを理念に、今年1月に新たな施設での診療を開始されています。



山下弘幸院長

全国的にも数少ない当診療所の核医学設備や迅速検査を行っている検査機器などについてご説明しましたが、職員が工夫をこらした採血台にも関心をお持ちでした。椿院長から実際の診療についてご説明し、見学を終えられました。

今後も甲状腺疾患専門施設として、他施設の見学に来られる方々に少しでもお役に立てるようでしたら幸いです。

エコー検査研修を受け入れて

大須診療所 臨床検査室 犬塚奈美

2012年6月から8月まで、当院として初めてエコー研修をうけいれました。研修にみえたのは医療法人富田浜病院の技師5名です。

富田浜病院は整形外科・外科・内科・泌尿器科・脳神経外科・リハビリテーション科・形成外科・放射線科・リウマチ科の9科と入院147床の三重県四日市市の中核病院です。

健診・人間ドックも行なっていて、5名の技師は腹部・乳腺・頸部など色々なエコー検査を行なっております。

特に近年健診で行うようになった頸部エコー検査時、甲状腺の異常を見つけることがあり専門の医師もいないことから対応に苦慮されているとのことでした。そのため、専門施設である当院の豊富な症例と医師との連携をどのようにおこなっているのか知りたいとご要望があり、木曜日1日1名ずつ研修にきていただきました。

症例は乳頭癌を中心にパセドウ病、橋下病のエコー画像とともに、実際に患者様を検査している手技を見学して頂きました。

研修を受け入れるのも初めてで、ご要望にお答え出来たかはわかり

ませんが、今後も地域の皆さんのお役に立てるように知識を増やし、研修の受け入れをやって行きたいと思っております。



研修にいらしゃった富田浜病院の加藤さんよりご挨拶をいただきましたので、ご紹介いたします。

富田浜病院 検査科 加藤悦子

この度は甲状腺超音波研修を受け入れていただきありがとうございます。ありがとうございました。

健康診断では、動脈硬化などを調べるための頸動脈の超音波検査時に甲状腺の異常が見つかることがあります。また、甲状腺ホルモン異常を指摘される患者様も増加しております。臨床検査技師として、甲状腺疾患の検査をより効果的に行うためにはどうしたらよいか？そのような思いを胸に検査している毎日でした。これらの課題について、大須診療所から届いた精検結果報告書は、実に明確に記載されており、是非この診療所で研修をさせていただきたいと思いました。

多忙な業務の中、研修のために疾患ごとの症例をまとめていただき、

様々な経験を踏まえた解説をしていただけたことに一同深謝しています。椿先生をはじめ事務長他部署の方にも温かく迎えていただきました。この研修を通して学んだことを、日常の業務に活かしながら、技師としての研鑽を積んでいきたいと思っています。

ホームページリニューアルのお知らせ

大須診療所 事務長 高田博史

この度、大須診療所のホームページをリニューアルいたしました。

今回のリニューアルでは、甲状腺の病気への理解を深めていただくお手伝いになればとの思いから、甲状腺の病気についての情報量を充実させました。加えて、診察の流れや検査・治療も写真なども多くの画像を交えてご説明しております。

また、新たに外来担当医師の予定表、よくいただくご質問への回答、車で来院される方向へのアクセスマップの追加など、新コーナーも追加しております。

よりわかりやすいホームページとなりましたので、ぜひご覧ください。



APECで椿院長が発表しました

大須診療所 事務長 高田博史

今号の「病院からのお知らせ」でもご紹介させていただきましたが、APECは、伊藤病院に常設事務局を設置している、アジア地域の内分泌を専門とする医師が集まる学会です。

タイのバンコクで開催された今回は、当診療所から椿院長も初参加し、「A case of a poorly differentiated carcinoma of the thyroid with a functioning nodule」(機能性結節を呈した低分化癌の1例)をテーマに発表いたしました。



伊藤病院1Fに当診療所への直通電話を設置しております。ご質問などございましたら、お気軽にお電話ください。

大須診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須4-14-59

電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308 HP：http://osu-shinryuujyo.jp/

人間の耳で聞き取ることのできる音域は20～20,000Hzとされており、これより高い周波数の音を「超音波」といいます。検査ではプローブ(肌に当てる部分)から調べたい部分に向け



て超音波を発信し、その反射波を再度プローブで受信した信号をコンピューターで処理し、画像化して見るのが超音波(エコー)検査です。

このため、リアルタイムに甲状腺を断層像として観察することが可能です。超音波検査は被ばくがなく痛みもありませんので、何回でも検査可能で安全性が極めて高い検査です。このため甲状腺画像診断の中で第一選択の検査と言えます。

当院では初診の患者様には全例この超音波検査をしていただき、甲状腺の状態を把握しています。グラフに当院で施行している年次別超音波検査数をお示しました。年々増加しており、2011年は84573件、1日約300件の検査を行っています。

検査は、検査用の椅子に座っていただき、背もたれを少し倒した状態で首に検査用ゼリーをつけて行います。検査時間は首の状態によって多少異なりますが、5～10分程度で終了します。この検査は被ばくがありませんので、妊婦の方でも可能ですし、食事をされてきても検査には影響ありません。

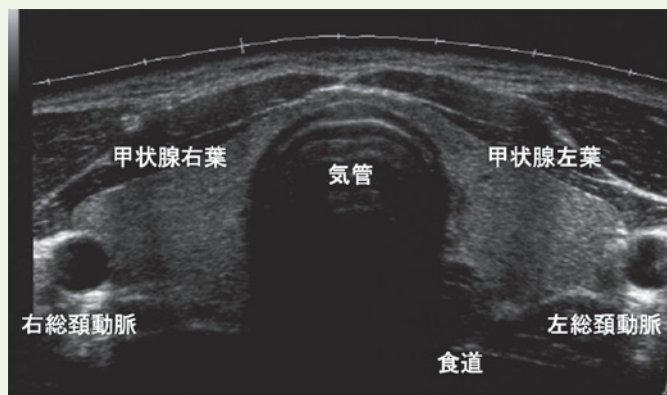
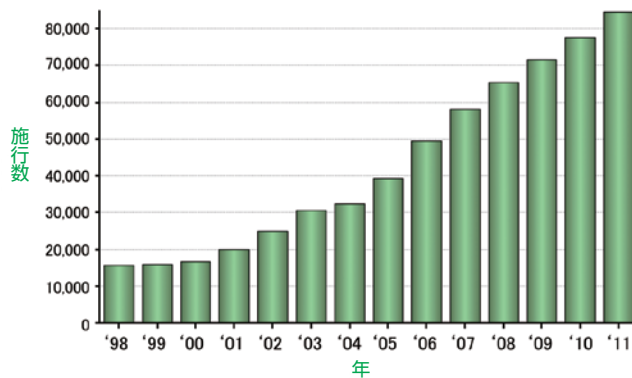
甲状腺超音波検査では、甲状腺の大きさ、腫瘍(しこり)の有無やその位置、大きさ、数を観察します。さらに甲状腺腫瘍の形状やリンパ節の腫れがないかなどを詳しく調べます。特に甲状腺の小さなしこりなどを評価するのは、CTやMRI検査より詳細に観察できます。ただし、ガス(空気)や骨があるとその背側に超音波が届かないので、観察が困難になることがあります。

正常な甲状腺と甲状腺乳頭癌の超音波画像をお示します。

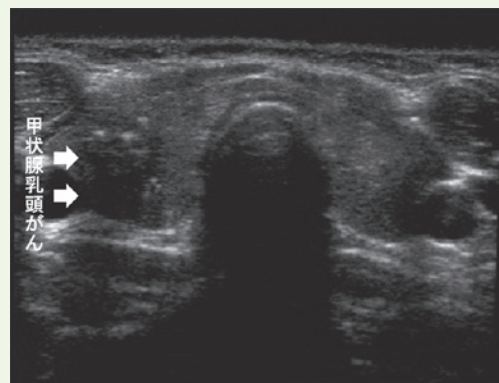
超音波検査の結果、甲状腺悪性腫瘍が疑われるような場合は、穿刺吸引細胞診を行いさらに詳しく検査します。当院の2011年のデータでは、超音波検査で悪性腫瘍を悪性と診断できる率は86.7%でした。パセドウ病では甲状腺全体が腫れており、超音波検査で甲状腺全体の重量(容量)を推測できます。この甲状腺重量からパセドウ病のアイソトープ治療における放射性ヨウ素用量を決めています。

このように超音波検査は数多くの情報が侵襲なく得られますので、日常診療上甲状腺ホルモン検査と同様に不可欠な検査と考えられます。

年次別超音波検査施行数の推移(1998～2011伊藤病院症例)



正常な甲状腺(横断像)



甲状腺がん(乳頭がん)

表紙no写真

今号の表紙は、バセドウ病の治療を続けながらもロンドンオリンピック女子200mバタフライで銅メダルを獲得された星奈津美選手と、鈴木美穂医師の写真です。

甲状腺の病気は、10人に1人はかかっているといわれる一方で、知名度が高くなく、なかなか周囲のご理解がえられずに悩まれている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。当院も、院長をはじめ各地の講演会に積極的に参加し、啓発活動に努めておりますが、星選手から患者様の目線でご自身の体験をご紹介いただきましたので、ぜひご覧ください。

最後になりますが、星選手にはVoiceへのご協力を快くお引き受けいただき、心より感謝申し上げます。



編集後記

いつもVoiceをご覧になって頂きどうもありがとうございます。今年も残すところあと1ヶ月となりましたが、みなさまはどのような1年でしたでしょうか？

私は伊藤病院の広報誌委員になって2年目に突入しましたが、この1年も様々な課題にとっても楽しく取り組ませて頂きました。中でも今年4月にオープンした渋谷ヒカリエの取材は印象に残っています。一般公開される前の報道向けの現場へ取材に行く事ができたことはとても貴重な経験となりました。その記事で、患者様が伊藤病院への通院を少しでも楽しいものにして頂けたら嬉しい限りです。

来年も引き続き患者様のためになる楽しく、ためになる情報をご提供できたらと思っております。2013年もみなさまにとって良い年となりますように！（福村）

甲状腺疾患書籍のご案内

★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご活用ください。



「よくわかる 甲状腺の病気」

著者：伊藤公一
定価：1,360円(税込)
発行：主婦と生活社



「甲状腺の病気」

速やかな回復のための最新知識
監修：伊藤公一
定価：1,365円(税込)
発行：法研



「甲状腺の 病気の治し方」

監修：伊藤公一
定価：1,260円(税込)
発行：講談社



伊藤公一のバセドウ病と 診断されたときに まず読む本

著者：伊藤公一
定価：1,470円(税込)
発行：主婦の友社



「甲状腺の病気の最新治療

バセドウ病・橋本病・
甲状腺腫瘍ほか」

監修：伊藤公一
定価：1,470円(税込)
発行：主婦の友社



「図解 甲状腺の病気が よくわかる 最新治療と正しい知識」

監修：伊藤公一・高見博
定価：1,470円(税込)
発行：日東書院

新刊

発行 2012年12月1日発行 第40号 伊藤病院広報誌委員会

ITO
HOSPITAL
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6

TEL : 03-3402-7411

FAX : 03-3402-7415

URL : <http://ito-hospital.jp>